

教科： **外国語**

科 目：	論理表現Ⅲ
------	-------

单位数：	2	单位
------	---	----

対象学年組：第 3 学年

教科担当者:	1組 工藤・村井	2組 河内・下山	3組 工藤・村井	4組 下山・山下	5組 河内・下山	6組 工藤・山下
使用教科書:	教科書: Logic and Expression III 副教材: UPGRADE 英文法・語法					

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を尊重し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 論理表現Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落からなる文章を書くことを通して、聞き手や読み手を説得するよう、論理構成や展開を工夫して話したり書いたりする力を養う。	研究で得た知見を論理的に説明できるように、情報や考えを効果的な理由や根拠とともに詳しく書いたり、話したりする力を養う。研究論文や新聞記事などの複数の資料を活用し、問題を解決するために話し合い詳しく書いたり話したりして、伝える力を養う。	聞いたり読んだりしたことから得た事実や情報とともに、調査や観察で得られた資料を活用しながら、主張や意見を支える根拠として効果的に使用し、社会に貢献する科学者としての素養を身に付ける

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 発 言 〕	話 〔 交 渉 〕	書					
1 学 期	単 元 1 Lesson 1 Global Language	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文法面では「時制」「助動詞」「受動態」、機能面では「賛成・反対」を表す表現を理解する	時制・助動詞・受動態、賛成反対表現						文法項目を理解し、それを正しく活用しながら、やり取りの表現に留意し、詳しく伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	13
	「英語以外の外国語を学習すること」をどう思うかについて、他者の意見を参考にしながら自分の意見を伝え質問に応答する。	教科書・副教材						「英語以外の外国語を学習すること」をどう思うかについて、他者の意見を参考にしながら自分の意見を伝え質問に応答できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	「英語以外の外国語を学習すること」をどう思うかについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表する。	資料の検索とPowerPointの作成						「英語以外の外国語を学習すること」をどう思うかについて、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表することができる。				
	単 元 2 Lesson 2 Millennia's Consumption Trends	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文法面では「不定詞」「動名詞」「分詞」、機能面では「例証」を表す表現を理解する。	不定詞・動名詞・分詞、例証の表現						文法項目を理解し、それを正しく活用しながら、やり取りの表現に留意し、詳しく伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○		○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	「サブスクリプション決済」をどう考えるかについて、他者の意見を参考にしながら自分の意見を伝え質問に応答する。	教科書・副教材						「サブスクリプション決済」をどう考えるかについて、他者の意見を参考にしながら自分の意見を伝え質問に応答できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	「サブスクリプション決済」をどう考えるかについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表する。	資料の検索とPowerPointの作成						「サブスクリプション決済」をどう考えるかについて、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表することができる。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説								○	○		
2 学 期	単 元 2 Lesson 2 Millennia's Consumption Trends	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文法面では「不定詞」「動名詞」「分詞」、機能面では「例証」を表す表現を理解する。	不定詞・動名詞・分詞、例証の表現						文法項目を理解し、それを正しく活用しながら、やり取りの表現に留意し、詳しく伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	13
	「サブスクリプション決済」をどう考えるかについて、他者の意見を参考にしながら自分の意見を伝え質問に応答する。	教科書・副教材						「サブスクリプション決済」をどう考えるかについて、他者の意見を参考にしながら自分の意見を伝え質問に応答できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	「サブスクリプション決済」をどう考えるかについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表する。	資料の検索とPowerPointの作成						「サブスクリプション決済」をどう考えるかについて、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表することができる。				
	単 元 3 Lesson 3 Space Odyssey	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文法面では「仮定法」「接続詞」、機能面では「時間的順序を表す表現」を理解する。	仮定法・接続詞、時間的順序を表す表現						文法項目を理解し、それを正しく活用しながら、やり取りの表現に留意し、詳しく伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○		○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答する。	教科書・副教材						「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表する。	資料の検索とPowerPointの作成						「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表することができる。				

令和6年度年間授業計画教科外国語科目論理表現Ⅲ

教科：外国語科目：論理表現Ⅲ単位数：2単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：	1組 工藤・村井	2組 河内・下山	3組 工藤・村井	4組 下山・山下	5組 河内・下山	6組 工藤・山下
使用教科書：	教科書：Logic and Expression III 副教材：UPGRADE 英文法・語法					

教科外国語の目標：

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を掌握し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目論理表現Ⅲの目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落からなる文章を書くことを通して、聞き手や読み手を説得するよう、論理構成や展開を工夫して話したり書いたりする力を養う。	研究で得た知見を論理的に説明できるよう、情報や考えを効果的な理由や根拠とともに詳しく書いたり、話したりする力を養う。研究論文や新聞記事などの複数の資料を活用し、問題を解決するために話し合い詳しく書いたり話したりして、伝える力を養う。	聞いたり読んだりしたことから得た事実や情報とともに、調査や観察で得られた資料を活用しながら、主張や意見を支える根拠として効果的に使用し、社会に貢献する科 学者としての素養を身に付ける

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説								○	○		2

令和	6	年度	年間授業計画	教科	外国語	科目	論理表現Ⅲ
教科：	外国語	科目：	論理表現Ⅲ	単位数：	2	単位	
対象学年組：	第 3 学年						
教科担当者：	1組 工藤・村井	2組 河内・下山	3組 工藤・村井	4組 下山・山下	5組 河内・下山	6組 工藤・山下	
使用教科書：	教科書：Logic and Expression III 副教材：UPGRADE 英文法・語法						

教科	外国語	の目標：
【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図を掌握し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。	

科目	論理表現Ⅲ	の目標：
【知識及び技能】	スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落からなる文章を書くことを通して、聞き手や読み手を説得するよう、論理構成や展開を工夫して話したり書いたりする力を養う。	【思考力、判断力、表現力等】 研究で得た知見を論理的に説明できるよう、情報や考えを効果的な理由や根拠とともに詳しく書いたり、話したりする力を養う。研究論文や新聞記事などの複数の資料を活用し、問題を解決するために話し合い詳しく書いたり話したりして、伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	聞いたり読んだりしたことから得た事実や情報とともに、調査や観察で得られた資料を活用しながら、主張や意見を支える根拠として効果的に使用し、社会に貢献する科学者としての素養を身に付ける	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
2 学 期	単元 3 Lesson 3 Space Odyssey	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文法面では「仮定法」「接続詞」、機能面では「時間的順序を表す表現」を理解する。	仮定法・接続詞、時間的順序を表す表現						文法項目を理解し、それを正しく活用しながら、やり取りの表現に留意し、詳しく伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答する。	教科書・副教材						「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表する。	資料の検索とPowerPointの作成						「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表することができる。				
	単元 4 Lesson 4 Art of Graffiti?	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文法面では「比較」「関係詞」、機能面では「確信・提案・勧誘・伝聞の表現」を理解する。	比較・関係詞、確信・提案・勧誘・伝聞の表現						文法項目を理解し、それを正しく活用しながら、やり取りの表現に留意し、詳しく伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	13
	「クローン文化財」をどう考えるかについて、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答する。	教科書・副教材						「クローン文化財」をどう考えるかについて、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	「クローン文化財」をどう考えるかについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表する。	資料の検索とPowerPointの作成						「クローン文化財」をどう考えるかについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表することができる。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説								○	○		2
	単元 5 Lesson 5 Media and Information Literacy	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文法面では「疑問詞」、機能面では「忠告・義務・必要・譲歩の表現」を理解する。	疑問詞、忠告・義務・必要・譲歩の表現						文法項目を理解し、それを正しく活用しながら、やり取りの表現に留意し、詳しく伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	13
	「メディアリテラシー」をどう考えるかについて、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答する。	教科書・副教材						「メディアリテラシー」をどう考えるかについて、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	「メディアリテラシー」をどう考えるかについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表する。	資料の検索とPowerPointの作成						「メディアリテラシー」をどう考えるかについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表することができる。				
	単元 6 Lesson 6 Are You a Great Creative Thinker?	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文法面では「否定」、機能面では「比較・対照を表す表現」を理解する。	否定、比較・対照を表す表現						文法項目を理解し、それを正しく活用しながら、やり取りの表現に留意し、詳しく伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○		○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」について、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答する。	教科書・副教材						「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」について、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」について、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表する。	資料の検索とPowerPointの作成						「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」について、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的に書き発表できる。				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説								○	○		2

令和6年度年間授業計画教科外国語科目論理表現Ⅲ

教科：外国語科目：論理表現Ⅲ単位数：2単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：	1組 工藤・村井	2組 河内・下山	3組 工藤・村井	4組 下山・山下	5組 河内・下山	6組 工藤・山下
使用教科書：	教科書：Logic and Expression III 副教材：UPGRADE 英文法・語法					

教科外国語の目標：

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図を掌握し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目論理表現Ⅲの目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落からなる文章を書くことを通して、聞き手や読み手を説得するよう、論理構成や展開を工夫して話したり書いたりする力を養う。	研究で得た知見を論理的に説明できるよう、情報や考えを効果的な理由や根拠とともに詳しく書いたり、話したりする力を養う。研究論文や新聞記事などの複数の資料を活用し、問題を解決するために話し合い詳しく書いたり話したりして、伝える力を養う。	聞いたり読んだりしたことから得た事実や情報とともに、調査や観察で得られた資料を活用しながら、主張や意見を支える根拠として効果的に使用し、社会に貢献する科学者としての素養を身に付ける

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
3 学 期	単元6 Lesson 6 Are You a Great Creative Thinker?	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				8
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文法面では「否定」、機能面では「比較・対照を表す表現」を理解する。	否定、比較・対照を表す表現						文法項目を理解し、それを正しく活用しながら、やり取りの表現に留意し、詳しく伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	
	「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」について、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答する。	教科書・副教材						「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」について、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」について、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的書き発表する。	資料の検索とPowerPointの作成						「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」について、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的書き発表することができる。				14
	単元7 Lesson 7 Green Wisdom	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文法面では「名詞・冠詞」、機能面では「統計資料を説明する表現」を理解する。	名刺・冠詞、統計資料を説明する表現						文法項目を理解し、それを正しく活用しながら、やり取りの表現に留意し、詳しく伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】				
	「エコツーリズム」のメリットとデメリットについて、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答する。	教科書・副教材						「エコツーリズム」のメリットとデメリットについて、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を伝え質問に応答できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	「エコツーリズム」のメリットとデメリットについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的書き発表する。	資料の検索とPowerPointの作成						「エコツーリズム」のメリットとデメリットについて、主体的に考え、論理展開に留意し原稿を主体的書き発表することができる。				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材						【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材						【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説								○	○		2